

WEEKLY

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

- 例会日 木曜日
- 例会場 一宮工商会議所
- 承認日 昭和24年12月31日
- 事務局 一宮市栄4-6-8 一宮工商会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 フax 0586-491-0858

世界へのプレゼントになろう

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2016年3月31日
第3240回例会

プログラム

卓話

中所 宜夫氏

(能楽師 觀世流シテ方)
テーマ「生きるための能」

ロータリーソング 「四つのテスト」

第3239回例会の記録

2016年3月17日(木)

会長挨拶

猪子誠兒
本日のプログラムは先月の加藤昭宏さん、西岡隆夫さんに引き続き今年度5回目のイニシエーションスピーチです。

昨年7月23日にご入会いただきました、西川隆造さん、9月3日にご入会いただきました松林孝美さんのお二人より卓話を賜ります。

今年度は多くの新会委員をお迎えいたしておりますので5月19日に6回目として大橋生江さん、白木幸泰さんのイニシエーションスピーチを予定いたしておりますが、先週ご入会いただきました浅井孝介さん、加藤亘さん、森全光さん、渡邊肇さんは今年度消化できず次年度にお願い致しますことお許し下さい。

西川さん、松林さん本日のイニシエーションスピーチよろしくお願ひいたします。

出席報告

現在の会員数	委員長	関戸 徹
99名		
0名		
58名		
14名		
71. 71%		
97. 61%		

次回の予定

青少年交換学生
レイさん卓話

一宮

題字 PG 安野譲次



重文 「陵王」面 真清田神社藏

会長	猪子 誠兒	幹事	桑原 英寿
会長エレクト	松田 晓昌	幹事	山田 一仁
副会長	村川 文穂	広報会報委員長	浅野 一

ニコボックス

☆ 豊島半七君

日本商工会議所会議のため、松林さん、西川さんのスピーチを聞けず申し訳ありません。週報を楽しみにします。

☆ 伊藤光治君

3月12日に長男が結婚しました。新婦の手紙の読み上げ、息子から妻へのウェディングベア一贈呈で涙腺が切れたところで両家代表の挨拶。涙でぐちゃぐちゃのスピーチになりましたが、まずは一大イベントが終了した喜びで。

☆ 青木俊憲君

本日、中3の息子が無事に卒業式を迎えました。成績はともかく曲がらず育ってくれたことに感謝しております。卒業式後のクラスでの謝恩会では、名鉄犬山ホテルさんにお世話になり、いろいろお気遣い頂いております。感謝感謝の一日です。

☆ 關戸 潔君

3月15日第3回IRG会紅組で三連覇しました。「ゴルフは80才でも進化する」は私のモットーです。白内障でボールの行方は判然としませんが、美しいスイングを目指して精進します。

ありがとうございました。

☆ 光寄賢一君

15日開催のIRG会紅組参加者10名全員がショートホール1オンをミスする中、14番でニアピンをとった喜びで。残念ながらスコアはメチャクチャでした。

☆ 宮田智司君

西川さんのイニシエーションスピーチにあたって参加できた事の喜びで。

☆ 山田一仁君

15日開催の第3回一宮ロータリークラブゴルフ同好会コンペのご参加の皆様。強風の中お疲れ様でした。団らすも白組にて初めて！優勝をさせて頂き、ありがとうございました。

一宮クラブの皆様の温かいご協力の下、12日に地区米山奨学記念委員会の歓送迎会にて、本年度の奨学生22名を無事送りだすことが出来皆様へ心からの感謝と自身、地区委員として5年間の任務を無事終える事が出来た喜びで。

☆ 猪子誠兒君 桑原英寿君

本日イニシエーションスピーチ平成27年7月23日入会、西川隆造さん、9月3日入会、松林孝美さんのお話を聞ける喜びで。

***** プログラム *****
イニシエーションスピーチ
西川隆造君

テーマ「父の想い」



昨年7月に入会させて頂きました西川隆造です。本日はこの様な機会を頂戴致しまして誠に有難うございます。イニシエーションスピーチということで子供の頃の父の思い出をお話させて頂きたいと思います。

私の父は26歳で会社を引き継ぎ52歳の若さで亡くなりました。丁度その年に長男として生まれてきた私は家業を継ぐものとして育てられ、二言目には、いい商売人になれといわれてきました。

父は会社から帰るとその日にもらった名刺を私に渡します。その名刺をストックブックに整理するのが私の仕事です。会社ごとにまとめていきますので自然と会社名を覚えていきます。今でもその頃取引があり続いている会社が何社もあります。

父との会話のなかで今でも鮮明に覚えているものがあります。父は床屋が好きで週末になるといつも連れて行かれます。子供の私はザエさん見たいし行きたくないので、ある日父に質問しました「おとうさんはいつも電気つけっぱなしや水道出しつぱなしにすると、もったいないというけれど毎週床屋に行くのも、もったいないよ」返ってきた答えが「限られた人生の中で床屋にもいかずに不潔にしている方がよっぽどもったいない」でした。私の子供部屋には徳川家康の遺訓が貼られていました。「人の一生は重荷を負いて」で始まる有名な遺訓です。それを毎日一回読めと言わっていたので当時ソラで全文言えました。多分今でも言えます。私も26歳の時に父を亡くし30年経ち「父の想い」には応えられてはないとおもいますが、なんとか会社を潰さずにいるにことがせめてもの救いです。

最後になりましたが、歴史と伝統のある一宮ロータリークラブで学ばせて頂き社業に専念したいと存じます。これからもご指導宜しくお願い申し上げます。

例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
一宮北	4月15日(金)	一宮商工会議所会館	有

※ 時間に指定のないクラブの受付は12:00~12:30です。

松林孝美君

テーマ「昇龍道について」



名鉄で40数年過ごして、いろんな仕事をしてきましたが、今日は、今話題の「昇龍道」についてお話をしようと思います。

日本政府は少子高齢化の中で外国人観光客の取り込みを1つの成長の柱として考えており、東京オリンピックが開かれる2020年には、訪日外国人旅行者4000万人の受け入れを目標として、国を挙げて取り組んでいくところであります。こうした中でこの中部9県では、この「昇龍道プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトは、日本有数の観光資源を有する中部北陸9県が、官民一体となって多くの外国人観光客を誘致しようとするプロジェクトです。能登半島を龍の頭に模して、このネーミングとなりました。2017年に昇龍道9県で600万人泊を目指すという目標で設定されましたが、この目標は2015年に前倒しで達成され、新しい目標として2019年に1100万人泊を設定し、中部の知名度をさらにアップできるよう、いろいろな取り組を行っています。

名鉄グループの事業エリアは、この昇龍道エリアとほぼ重なっており、このエリアの交通インフラを担う企業グループとして、昇龍道へのお客様が増えることイコール名鉄グループへのお客様が増えると考えて積極的に取り組んでまいりました。

具体的な事例のひとつとして、外国からの個人のお客様を対象に、名鉄グループを中心とした高速バスのネットワークを活用して、名古屋、高山、白川郷、金沢と中部国際空港、小松空港のアクセスも含めたフリー切符を造成し14年1月より海外で販売しております。1枚の切符で昇龍道エリア全てを回ることができ、その都度切符を買うと言う必要がないと言う利便性と、魅力的な価格設定を行った結果、当初の見込みを超える販売で、特に香港、台湾を中心としたアジアの方にご利用いただいているところです。さらに15年10月には、首都圏関西圏からも利用しやすい周遊商品としてバージョンアップしたところです。外国からのお客様が増えることで、この地域がより潤い、成長できればと考えていますので、「昇龍道」にご関心を持っていただければと思います。